

## 第二回 GNH 研究所会員の集い 議事録

第2回会員の集いが2009年3月22日(土) JICA 地球広場にて午後1時~4時行われました。三連休の最終日、年度末、しかも当日は朝からの強風で電車が大幅に遅れるという悪条件にもかかわらず合計13名の参加があり、3時間弱、心地よい時間をすごしました。

当日の参加者

### グループ1

朝生さん

都甲さん

森さん

首藤さん

### グループ2

齊藤さん

伊藤さん

長沼さん

渡辺さん

### グループ3

茅根さん

高田さん

笠井さん

平山(た)さん

この班分けで自己紹介(大体15分)、グループワーク+発表(約1時間)GNHの新動向の講義(約20分)、を行いました。また班分けに際しまして「日本地図を作ろう」、「人物探しゲーム」などのワークも行いました。GNH 研の会合の特徴としてこうした会員間の仲間つくり役に立つワークは必ず行っていこうと思います。

グループワークではしりあがり寿さんの漫画「不安の元」を題材に、1. 感想、2. ではどうすれば幸せを生活の中で実感することができるか?をグループで話し合い、それを発表する形で、私たちの幸福を構成する要素について考えました。

グループ1(発表者:朝生さん)

不安・・・安心は金で買える

金がなくて不安。。。 この循環論法

いろいろなものを持たないほうが不安もわからないのでは?

持たない。

一人では怖い・・・仲間がほしい・・・仲間はずれになるのが怖い。仲間は持つほうがよいのか、持たないほうがよいのか。。孤独でない事が幸せの原点では？

貧富の差＝文明は富の集中によって発生したのでは？

「お金がない＝不安」こう思う子供が多くなっている、つまり消費によって成り立っている社会に私たちは生きているのでは？消費は快樂、消費してナンボ。。

人のために成れることが究極の幸せではないか。。

グループ 2 (発表者：齊藤さん)

1. 比べない（人と）成長や所有にはきりがいいのではないかと。あるもので満足するという要素も必要ではないか。精神的な充足感
2. 比較の基準＝お金。人の価値観がこうなっているのでは？これからの脱却。他人の目に縛られない感覚。
3. 価値観の許容性・多様性・・・自分がやりたい事を進めるには、他人の価値観も認めるべきでは

グループ 3 (発表者：高田さん)

1. 肯定
2. 夢・・・不安を打ち消せるようなものを持つてほしい
3. 捉え方・・・ネガティブに捉える必要もないのでは？不安の現況は別に悪くないのでは？
4. 見ない・・・道徳や教育で見ないではなく、見ても自分が動揺しないような個を作る。周りの情報に左右される＝TVのいう情報が絶対になる現実

意見交換

まずは前回の提言を踏まえて以下のことを改善に取り組みました。

#### 1. GNH についての情報共有

今回会員の集いで GNH についての資料を配布しました。また GNH に関する最新の考え方を講義形式でお伝えしました。

#### 2. 他団体との交流

大阪大学（4月からは関西大学）の草郷教授などと GNH に関する本をつくる企画を立ち上げました。その中に GNH 会員によるコンペで「私の幸せ」を表現する写真＋ポエムもしくはコメントを掲載する案が出ています。これを次回会合までの宿題にしたいと思います。

3. 絵本プロジェクトに関しては現在進行中、4月後半に GNH 研のパートナーの坂本達さんが現地を訪問します。また会員の杉原さんがすでにブータンに滞在されています。

今回の会員の皆さんからの意見です。

- ・ 国内に GNH をどう応用するか、これを考えて行きたい。
- ・ 企業への提案に GNH をどう絡めるか、これを考えたい。
- ・ 会員の懇親会があってもよいのでは？
- ・ もっとお互い会員のことを知り合う機会が欲しい
- ・ よい事例があれば、会員で見学ツアーをやってみては？
- ・ 環境部会があれば参加したい
- ・ 会員に特定のテーマについてインタビューしたい
- ・ こうした会員の集いという場の継続は非常に重要だと思う

との意見を頂きました。これを受けまして、環境部会、ならびに企業に対するアプローチを検討する部会の立ち上げを考えたいと思います。これに関しては会員の志村さん、塚原さん、別途声をかけさせていただきます。

それでは皆さん、また会いましょう

平山修一